

『市役所本庁舎の耐震工事と耐震工事が完了後の第2庁舎の計画は？』

**質問** 市役所の新館が1月5日にオープンします。新館には現在、市役所本庁舎1階にある全ての課が移動し、その後、市役所本庁舎は耐震補強工事を行う計画です。また、耐震工事完了後には第二庁舎から教育委員会や道路課などが引っ越してくる予定です。本庁舎は平成13年の耐震調査でIS値0.75を下回る結果が出ているので、工事内容や第二庁舎の今後の計画は？

**答弁** 市役所本庁舎は昭和49年5月竣工の築40年となる建築物です。本庁舎の長寿命化を図るべく外壁補修・屋上防水・給排水設備などを実施する予定です。また、新館に窓口業務のある市民課や福祉課が移動した後も、市役所2階から5階にはいくつかの課が残り業務を行います。改修工事は土・日を中心に実施するため工期も相当期間長くなると予想しています。第二庁舎については、旧市民会館の解体時に一定の改修を行っていますが、公共施設アセットマネジメントの考え方も含めて早急に結論を出してまいります。

子育て支援策としてインフルエンザ予防接種への助成はできないか？

**質問** インフルエンザの流行によって毎年いくつかの小・中学校で学級閉鎖・学年閉鎖、場合によっては学校閉鎖になっています。現在、65歳以上の方は国庫補助により1回1,000円で予防接種ができていますが、子どもに対しては補助制度がない為、独自に補助を出している自治体が増えてきています。市長の方針「子育て環境日本一」を実行する為に「学級閉鎖ゼロ宣言！！」と題し、子育て支援策として、インフルエンザ予防接種への補助はできないか？

**答弁** 現在、県内で小児等を対象に補助を行っている自治体は63市町村中、13市町村です。中学3年生のみに限定している自治体が6市町、中学生全員としている自治体が1町、生後6カ月から小学生・中学生・高校生までとしている自治体が5市町村、1歳以上5歳未満としている自治体が1市となっています。費用については接種費用の全額を公費補助としている自治体が1市2町、3,000円が2町村、1,000円が1市です。自己負担額を1,000円としている自治体が6市町、300円が1町です。定期的に鴻巣市医師会を含む北足立郡市医師会と鴻巣市・北本市・桶川市・伊奈町との意見交換をおこなっていますので、今後の協議の場で検討していきます。



上田県知事の塾生として  
気合いを頂きました。



朝、各駅での駅立ち  
おはようございます！



毎回、本人が議会報告を配布  
合計12万枚になりました。



消防団活動 機関長として  
運転手と機械操作を担当



消防訓練  
(県央消防本部)



こうのす花火大会  
(上田清司知事と)



こうのす花火大会設営

並木正年(なみきまさとし)昭和45年(1970)鴻巣市本町生まれ/鴻巣幼稚園/鴻巣東小学校/鴻巣中学校/埼玉栄高校  
亜細亜大学経済学部国際関係学科卒/セントラルワシントン大学AUAP課程修了/鴻巣幼稚園保護者会副会長/鴻巣市  
商工会青年部第31代部長/鴻巣市消防団第2分団員(18年目)/鴻巣東小学校PTA副会長(5年目)/埼玉県知事上田政  
治塾塾生/議会運営委員会副委員長/市民環境常任委員会委員長/鴻巣市議会議員2期目/詳しくはHPをご覧ください